

2020年4月3日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
 (東証 JASDAQ コード: 6862)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
 (TEL 03-5847-2030)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表しました2020年3月期の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------------|--------|------|------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 14,500 | 190 | 140 | 100 | 13.43 |
| 今回修正予想(B) | 11,900 | 290 | 270 | 220 | 29.58 |
| 増減額(B-A) | △2,600 | 100 | 130 | 120 | |
| 増減率(%) | △17.9 | 52.6 | 92.9 | 120.0 | |
| (ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期) | 15,850 | 237 | 193 | 105 | 14.22 |

2. 業績予想修正の理由

メモリーモジュール関連事業において、主要製品である DIMM (Dual Inline Memory Module) 及び SSD (Solid State Drive) の主要調達部材であるメモリー製品の DRAM、NAND ともに新世代品の歩留り向上や製品需要の後退により、一昨年から価格下落が続いておりました。そのため、足元では DRAM 及び NAND 価格が反転しているものの、通期の売上高は当初の予想を下回る見込みです。一方で、調達における効率化や取引先からの協力を含めた原価低減の実現等により、利益率は当初予想よりも改善する見込みとなりました。

デバイスプログラミング関連事業、その他事業におきましては、新製品の開発費等が高んだことから当初予想よりも減益を見込んでおります。

以上の理由により、売上高は前回発表予想と比べ 2,600 百万円 (17.9%) 減の 11,900 百万

円、営業利益は100百万円（52.6%）増の290百万円、経常利益は130百万円（92.9%）増の270百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は120百万円（120.0%）増の220百万円に業績予想値をそれぞれ修正いたします。

（※）上記の予想値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上